

AdBlue® Schatz NEWS

AdBlue®はドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標です。 Registered trademark of the Verband der Automobilindustrie e.V.(VDA)

Schatz 山口プラントのご紹介

今回は九州・山口・広島エリアをカバーしている 株式会社ティーツーエムをご紹介します。

ティーツーエムは山口県下関市にプラント構えて九州全域と広島までをカバーしております。製造量は30万ℓ。尿素水の製造では長い歴史があり親会社のJYカーゴで製造した尿素液の検証を続けながら、安全な尿素水(AdBlue®)をお客様に提供し続けております。

Schatzグループに入って1年ほど経過しましたが、大変頼もしいメンバーでありこれからの活躍にも期待しております。

Schatzグループは3A(安全・安定・安価)を事業理念としており、製造したメンバーが給液実施しながらも、現場でのAdBlue®管理を徹底することにより車両の故障を1台でも減らすことを目指しています。

又、国内に4,000t近い在庫を常時保有しており、安定供給をお約束します。

これからも、ティーツーエムをはじめ、全国12プラントより上質なAdBlue®を皆さまにお届けして参ります。



【尿素市況】6月輸入価格は下落、世界的な需給の緩みで

輸入尿素価格は6月に入り下落に転じた。リム情報開発の調べでは、円建て日本着(CIF)価格は23日時点でトンあたり59,000円前後と、5月19日時点から5,700円ほど下がった。世界的な需給の緩みが影響した。

供給面では、石炭価格の下落で生産コストが下がり供給が増加した。アジア市場の国際取引指標である豪ニュー・キャッスル積み価格は5月25日時点のトンあたり160ドルから、6月22日時点で同126ドルまで下落した。

需要面でも弱さがみられた。最大消費国インドが6月に実施した買い付け入札では、目標調達価格が低く抑えられ、購入量が計画の7割程度にとどまった。インドは近年、自国の生産能力を拡大し、輸入依存度が下がっている。

一方、この1カ月で円相場がドル対比で5円近く円安方向に進行。このことは円建て輸入価格の下支え要因として作用した。(リム情報開発の週刊『クリーンエネルギー』記事を編集加工)



AdBlue®を買うだけで社会貢献!

本日はシャッツ北陸プラントの独自の取り組みを紹介させていただきます。

北陸プラントを運営する(株)エイチツーは創業時より社会貢献活動のひとつとして、利益の一部を寄付する活動をしています。具体的には、北陸プラントよりアドブルーを購入頂くと、その利益の一部を1型糖尿病患者様の支援をしている「日本IDDMネットワーク」様へ寄付させて頂いております。

1型糖尿病とは、主に自己免疫によっておこる病気です。発症すると、生きていくために欠かせないインスリンが分泌されなくなります。そのため1型糖尿病は、膵臓移植や膵島移植を受けるか、血糖測定をしながら、生涯にわたって毎日数回のインスリン自己注射やインスリンポンプによる注入を続ける以外に治療法はありません。

一般に糖尿病として認知され、国内の糖尿病患者の9割以上を占める2型糖尿病と異なり、インスリンの補充が必要不可欠な病気です。日本人の子供の年間発症率は10万人に2人程度ですが、国内での認知度が低く、また“注射”への偏見、“糖尿病”というだけでの誤解にも悩まされる、一生治らないとされている難病です。今後も北陸プラントとしては、高品質のアドブルーとともに、社会を少しでも良く出来るよう、活動していきます。(AdBlue®周辺機器メーカー:株式会社エイチツー)

